

# 中学校だより

# 意欲あふれる社会人になろう

令和6年度 夏休み号  
(令和6年7月19日発行)

～礼節・自主・勤勉～

岸和田市立北中学校

「すべての職員がすべての生徒をしあわせに  
できる学校」をめざして！

## 1学期が終了しました。夏休みも一歩ずつ努力を重ねよう!!

早いもので1学期が終了しました。皆さんにとってどのような1学期でしたか。4月、新しい環境に緊張と不安があったように思います。けれど、いろいろなことに前向きに一生懸命取り組む皆さんの姿がありました。1年生は宿泊学習、2年生は校外学習、3年生は修学旅行と大きな行事が実施されました。どの学年も皆がルールや約束を守り、互いに協力し思いやりをもって行動することができました。あらためて北中学校の生徒の皆さんの力を感じるとともに、互いに高めあえる集団だと強く感じました。その他、毎日の授業、係活動、部活動においても、皆がそれぞれの目標に向かって努力を積み重ねる姿がありました。夏休みも、目標をしっかりと持ち、有意義な時間を過ごしてほしいと思います。くじけそうになったときは、次の話を思い出してください。

### <努力のツボ>

「成績を上げたい」「部活動で上達したい」と目標を立てたとき、神様から見えない「努力のツボ」をわたされます。何かを達成しようとするときには、この「努力のツボ」に「努力」をためていく必要があります。「毎日1時間勉強!」「毎日素振りを100回!」努力を重ねるとツボに努力がたまっていきます。いつかツボが努力で満たされてあふれだしたとき、夢や目標が達成されます。目標を達成するためには努力を続けることが必要です。けれど、それを難しくさせる原因がこのツボにあります。

1つ目の理由は、「ツボの中を見るができない」こと。中を見るができないので、いまどのくらい努力がたまっているかわからない。頑張っても結果が出なければ「もう無理・・・」とあきらめてしまいがち。でも、もしかしたらもう少しでツボから努力があふれだすかもしれない。あと1回の努力を注ぐだけであふれ出すかもしれません。

2つ目の理由は、ツボの大きさは「夢や目標の大きさ」「人」によって異なるということ。他人と同じ努力をしたから同じ成果が出ると限らないのです。

ツボの中を見るができない、ツボの大きさは人によっていろいろな大きさがある。だから難しい。夏休みも、一人一人が夢や目標をしっかりと描き、自分なりの努力を重ねてください。うまくいかないときは、あと少しでツボの中の努力があふれると信じて頑張ってください!! 有意義な夏休みとなることを願っています。



1年生 性教育



2年生 校外学習  
人と防災未来センター 南京町



生徒会主催 スポーツフェスティバル  
(バレーボール部と有志チームが対戦)



玄関の七夕飾り



ふれあい授業  
(城北小への出前授業)



アップサイクルキーホルダー  
ワークショップ

<8月の行事予定>

8月8日(金) 全校登校日 8:30登校 11:30下校予定

8月13日(火) 学校閉庁日

8月14日(水) 学校閉庁日

8月26日(月) 2学期始業式 (式 + 学活)

8月27日(火) 給食開始

<保護者の皆様へ>

1学期、本校の教育活動にご理解ご協力をいただきありがとうございました。明日からは、長い夏休みが始まります。子どもたちとはしばらく顔を合わすことができず、寂しい気持ちもありますが、前向きに目標をもってチャレンジし、ひと回り大きくなって、2学期に会えることを楽しみにしています。ますます暑さも厳しくなると思いますが、保護者の皆様もどうぞご自愛ください。